

令和3年度卓越した技能者 (現代の名工)を決定しました

「研磨盤工の廣澤^{ひろさわ}実氏^{みのる}をはじめ150名を
11月8日に表彰」

卓越した技能者の表彰制度とは

昭和42年に創設した「卓越した技能者の表彰制度」は、卓越した技能を持ち、その道で第一人者と



被表彰者に表彰状を贈る古賀厚生労働副大臣

目されている技能者を表彰するものです。この制度は、技能の世界で活躍する職人や技能の世界を志す若者に目標を示し、技能者の地位と技能水準の向上を図ること、また、技能者の模範として、将来を担う優秀な技能者の確保・育成を進め、優れた技能を次世代に継承していくことを目的としています。創設以来、令和3年度までに、6,796名の方が表彰されています。

古賀厚生労働副大臣より 表彰状授与

厚生労働省では、令和3年度の卓越した技能者(通称「現代の名工」)について、研磨盤工として高品質な精密加工技能や専用機の



祝辞を述べる古賀厚生労働副大臣

開発技能に卓越した技能を持つ廣澤実氏をはじめとして、表彰対象者150名を決定し、11月8日(月)に東京都新宿区のリーガロイヤルホテル東京にて、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、各部門を代表する20名の技能者を招待して表彰式を行いました。

この式典に出席した古賀厚生労働副大臣は、「現代の名工となられた後のご活躍は、将来を担う若者に、ものづくりや技能の道への第一歩を踏み出させ、若い技能者自らが技能水準の向上に取り組む契機となります。今後とも、その



祝辞を述べる宮野中央職業能力開発協会理事長

卓越した技能と指導力をもって、広く技能者の模範として、後進の育成に一層、積極的に当たっていただきますことを期待しています。」と挨拶しました。

◆表彰事例

廣澤 実氏(56歳)
研磨盤工(株式会社ミットヨ
宇都宮事業所)

●技能功績の概要

思い描いた形を実現する機械加工の特級技能士(栃木県推薦)
高品質な精密加工技能や専用機の開発技能が卓越しており、研削

◆令和3年度 代表的な技能者について

第1部門	稲坂 徳太郎（鍛冶工）
第2部門	廣澤 実（研磨盤工）
第3部門	楠本 好行（打抜プレス工）
第4部門	長田 浩（産業用機械組立工）
第5部門	加藤 成義（民生用電子・電気機械器具組立工・修理工）
第6部門	千葉 孝貴（自動車整備工）
第7部門	吹上 重雄（製糸工）
第8部門	佐藤 千鶴子（婦人・子供服注文仕立職）
第9部門	石川 吉登（宮大工）
第10部門	藤井 禎夫（瓦ふき工）
第11部門	石丸 春光（造園工等）
第12部門	桑原 晴彦（化学製品検査工）
第13部門	金澤 良吉（木製建具製造工）
第14部門	永井 紀之（洋菓子製造工）
第15部門	根津 英和（理容師）
第16部門	早乙女 哲哉（天ぷら料理人）
第17部門	吉田 克浩（畳工）
第18部門	福田 宗男（広告美術工）
第19部門	下出 祐太郎（蒔絵師）
第20部門	河本 薫（データサイエンティスト）

※ 職業部門、氏名（敬称略）及び職種を記載。

詳しくは、厚生労働省HPの以下をご覧ください。

◆令和3年度の被表彰者及びその技能功績について
ホーム＞報道・広報＞報道発表資料＞2021年11月
＞令和3年度卓越した技能者（現代の名工）を決定しました

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_21875.html

◆卓越した技能者（現代の名工）の表彰制度について
ホーム＞政策について＞分野別の政策一覧＞雇用・労働＞人材開発＞「卓越した技能者（現代の名工）」表彰制度のコーナー

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/jinzaikaihatsu/meikou/index.html

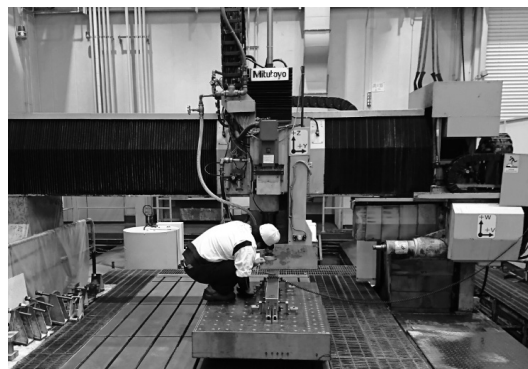


被表彰者代表より謝辞紙を受け取る小林人材開発統括官



【作業風景写真】

材料をより自然な状態で固定し加工できる自在治具



【作品写真】

大型石材穴明専用機の仕様決定から部品研削、プログラム作成、立ち上げまでを一貫して対応

加工における平面度・面粗さの精度要求対応への技術、技能により、高精度CNC三次元測定機やCNC三次元測定機の量産化に貢献した。また、ミットヨ技能開発センター業務における技能者の育成はもとより、職場における高精度の研削部品加工において、生産技術の経験を生かした技能、技術両面からの指導をするなど後進の育成にも大きく貢献している。